

報道関係各位

2024 年 11 月 5 日

【新商品】 どこでも簡単に使える脊柱側弯症の検査用 角度計を開発
- 成長期の子どものための側弯症早期発見のための学校健診に朗報 -

電制コムテック株式会社（代表取締役社長・田上寛）は、旭川医科大学との共同開発により、脊柱側弯症の検査における課題を解消した角度計「販売名：スコリオデバイス（SD-1）」（写真）を 2024 年 11 月 26 日に発売予定。本製品は成長期の子どものための脊柱側弯症の疑いを早期に発見し適切な治療につなげるための新たな装置です。

1. 開発の経緯

脊柱側弯症は現在、学校保健安全法に基づき学校医が検査を行っておりますが、視触診では傾斜角度を客観的に数値で確認できないため判断が難しいことに加え、従来の検査装置は高額で導入し辛く、使用する場合も準備に大きな手間がかかる等の課題がありました。それらの課題を解決するために旭川医科大学において新たな検査機器を研究、その成果を応用し当社と本機器の共同開発となりました。

また、（一社）日本側弯症学会の 6 月発行『学校健康診断における側弯症検診に関する見解』では検査の重要性が高まる一方、プライバシー保護が課題であり、これにも応える角度計となりました。

「**脊柱側弯症とは**」脊柱が左右に曲がってしまう症状のことで思春期に発症するケースがあり早期発見が重要です。

2. 製品特長

着衣のまま測定を可能としたことでプライバシーが保護されるほか測定時間の大幅短縮や専門知識不要で誰でも簡単に操作でき、検査にかかる多くの課題を解決します。

**3. 課題解決**

- 従来の側弯症一次検査は衣服を脱ぐ必要がありましたが、本製品は着衣のまま測定できるため、測定時のプライバシーが守られ、心情負担も軽減します。
- 従来の側弯症検査機器は高価でしたが、本製品は低予算での導入が可能です。
- 従来の側弯症検査機器は着替えスペースや会場設営が必要ですが、本機器は、着替スペースが不要・持ち運びや準備が簡単・片手で持って利用することが可能です。
- 従来の側弯症検査機器は検査時間が一人あたり数分でしたが、一人当たり 5 秒～10 秒程度で測定できます。
- 従来の側弯症検査機器は操作に専門的な知識が必要ですが、本機器は専門知識が不要です。
- 視触診での評価では、症状が軽い場合に見逃し易く早期発見が難しい場合がありますが、本機器は傾斜角度を表示単位 1 度でデジタル表示のため判別しやすく安心です。

4. 製品仕様

- 寸法・重量：W226 mm×H120 mm×D300 mm・約 550g（電池含む）
- 使用電源：単 3 アルカリ乾電池×2 本 ・表示機能：背中のねじれ角度表示
- 角度測定範囲：0～±25 度 ・角度測定表示分解能：1 度

5. 予定販売価格：¥280,000**6. 今後の展望**

当社はスコリオデバイスでより多くの子どもたちが早期に脊柱側弯症を発見し、適切な治療を受けられる環境作りに貢献してまいります。

＜本件に関するお問い合わせ＞

電制コムテック株式会社 ブランド事業部（担当：田上さやか）

TEL:(011)380-2102 FAX:(011)380-2123 HP:https://www.dencom.co.jp